

# マレーシアにおける新型コロナウイルスの感染状況等について

本資料は、在留邦人の方々の判断に資する参考資料として、マレーシア政府等の最新の公開データを基に作成したものです。更新頻度は週1回を予定しており、その間には一部最新でない情報が含まれる事もありますが、その点ご注意ください。

(内容)

1. 感染状況（全体、死亡例、カテゴリー別／B I D、州別、実効再生産数、変異株）
2. 病床状況（政府系・私立系病院のコロナ用病床状況、クランバレー地域使用率推移）
3. ワクチン（調達状況、若年者への接種、接種状況、見込み）
4. 国家回復計画（NRP）
5. 陽性者等への対応

令和3年8月27日  
在マレーシア日本国大使館

## 1. 感染状況

(全体、死亡例、カテゴリー別／B I D、州別、実効再生産数、変異株)

### 第3波開始から現在までの感染状況

- 5月以降、主に首都圏を中心に新規感染者数が急増していたが、8月以降は地方（サバ州、ペナン州、ジョホール州、クランタン州、ケダ州等）において特に感染が拡大
- 6月中旬以降は一旦減少傾向に転じたが、再度増加。7月13日には初めて1万例を超過し、以降は継続的に1万例を超過。8月5日には初めて2万例を超過し、8月26日は過去最高の24,599例を記録
- 7月28日、保健省は、ここ最近の新規感染者数の急増を「デルタ株感染の無症候性患者が無自覚に感染を拡大させた」と説明しているが、ワクチン接種の進展に伴い8月末には減少傾向に転じる見込みとの見解を述べている

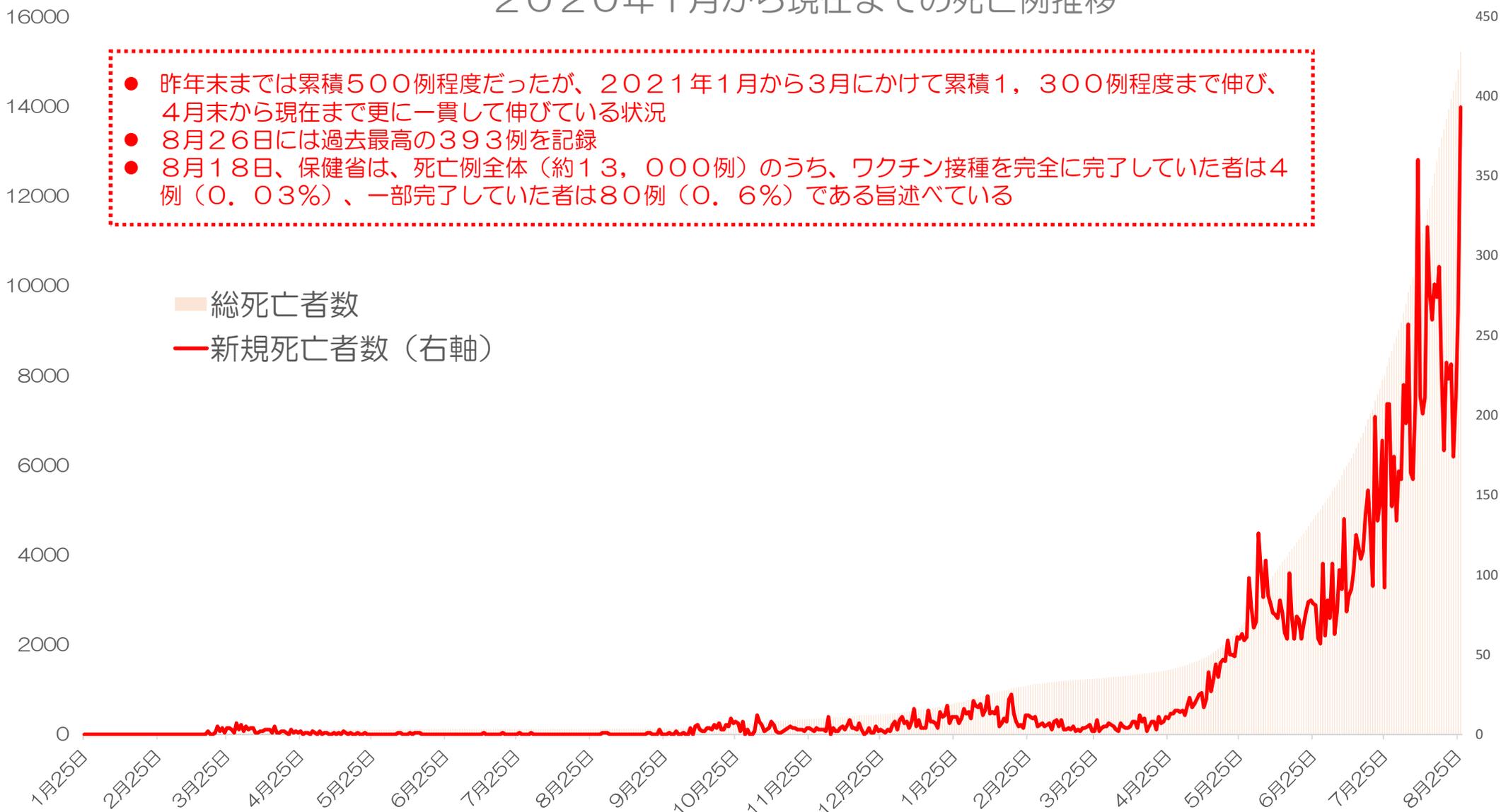
■ 総感染者数  
■ 総回復者数  
■ 入院患者数  
— 新規感染者数（右軸）  
— 新規回復者数（右軸）



# 2020年1月から現在までの死亡例推移

- 昨年末までは累積500例程度だったが、2021年1月から3月にかけて累積1,300例程度まで伸び、4月末から現在まで更に一貫して伸びている状況
- 8月26日には過去最高の393例を記録
- 8月18日、保健省は、死亡例全体（約13,000例）のうち、ワクチン接種を完全に完了していた者は4例（0.03%）、一部完了していた者は80例（0.6%）である旨述べている

■ 総死亡者数  
— 新規死亡者数（右軸）



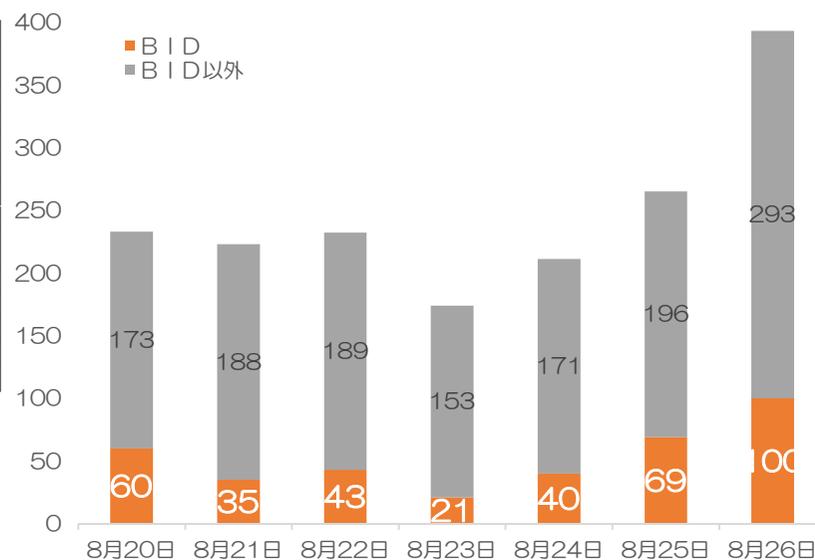
## 直近の新規感染者のカテゴリー別報告及び新規死亡者におけるB I Dの状況

- 7月16日、マレーシア保健省が新規感染者のカテゴリー別割合（重症度別割合）の公表を開始。更に7月26日以降は各カテゴリー感染者のワクチン未完了率も公表されている
- 当該カテゴリー報告はあくまで感染報告時点での重症度を表すものであり、その後の悪化・改善を反映できていない点に留意が必要なものの、本データより、報告時点では98%近くが「カテゴリー1（無症候）」又は「カテゴリー2（軽症）」であり、また感染者の多くがワクチン未完了者であることが明らかとなった
- 8月5日、ザフルル国家回復計画（NRP）調整担当大臣（当時）は、州毎のNRPの段階を「新規感染者のうちの重症者（カテゴリー3から5）割合」に基づき移行させる旨発表（後述）。ただし、現時点で州毎のカテゴリー別割合の公表はされておらず、従って各州毎の段階移行の進捗評価は困難な状況
- 一方、直近の新規死亡者数のうち、10～25%近くが病院搬送時に死亡（B I D：Brought-In-Dead）しているため、陽性者においては体調変化に十分留意頂き、体調に不安のある場合には、早期に保健所・CAC・病院等に連絡し、治療介入を求めるようにすることが重要

	8月21日			8月22日			8月23日		
	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合
カテゴリー1	10990	49.4%	0.822	9840	49.7%	0.819	8231	46.6%	0.786
カテゴリー2	10803	48.5%	0.827	9624	48.6%	0.831	9005	51.0%	0.831
カテゴリー3	204	0.9%	0.858	171	0.9%	0.895	190	1.1%	0.847
カテゴリー4	81	0.4%	0.827	68	0.3%	0.897	108	0.6%	0.889
カテゴリー5	184	0.8%	0.891	104	0.5%	0.942	138	0.8%	0.877
	8月24日			8月25日			8月26日		
	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合
カテゴリー1	9540	45.8%	0.811	10501	46.4%	0.798	11389	46.3%	0.807
カテゴリー2	10939	52.5%	0.815	11663	51.5%	0.802	12550	51.0%	0.797
カテゴリー3	195	0.9%	0.805	233	1.0%	0.871	197	0.8%	0.812
カテゴリー4	63	0.3%	0.825	70	0.3%	0.814	118	0.5%	0.831
カテゴリー5	100	0.5%	0.830	175	0.8%	0.857	345	1.4%	0.896

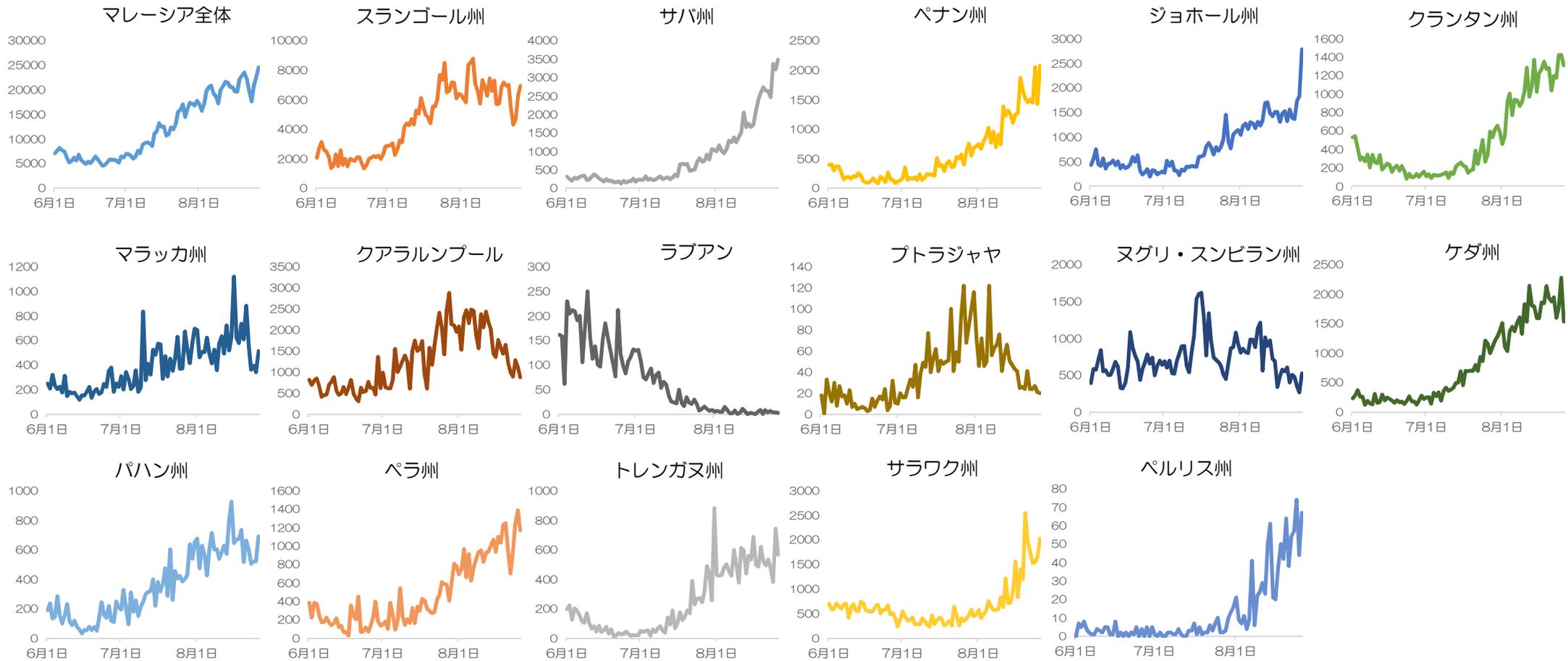
カテゴリー1：無症状 カテゴリー2：症状あり カテゴリー3：症状あり、肺炎あり  
 カテゴリー4：症状あり、肺炎あり、酸素補助必要（ICU） カテゴリー5：多臓器に影響がある重症（ICU）

＜直近の新規死亡者におけるB I Dの状況＞



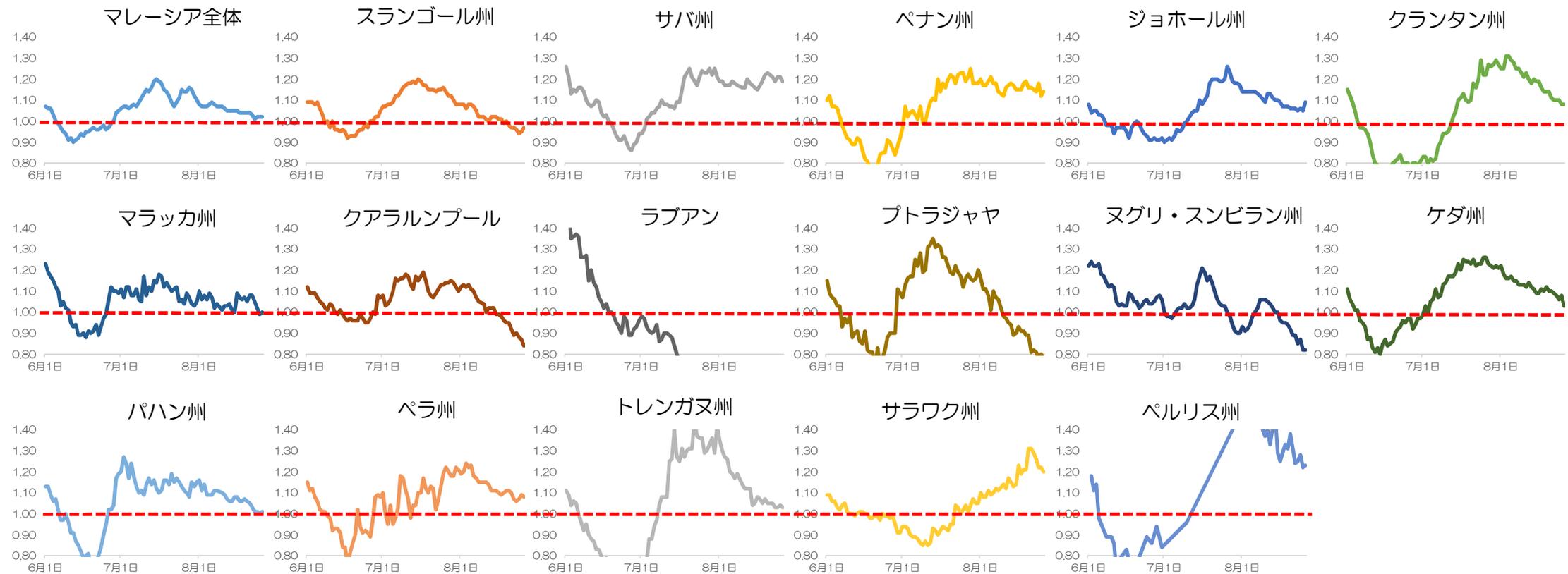
## 2021年6月から現在までの州別新規感染者数の推移

- マラッカ、クアラルンプール、ラブアン、プトラジャヤ及びヌグリ・スンビラン州では減少傾向にあるが、ほとんどの州では増減を繰り返しており安定していない
- 8月26日現在、サバ州、ペナン州、ジョホール州、クランタン州、ケダ州、ペラ州、サラワク州及びペルリス州では特に感染が拡大しているが、時期及び地域により変動があるため、引き続き各州の状況を注視する必要



## 2021年6月から現在までの州別実効再生産数の推移

- マレーシア全体での実効再生産数は6月28日以降「1.0」を超過し、7月15日時点で「1.20」まで増加したが、その後は減少傾向に転じ、8月26日現在は「1.02」を記録
- 8月26日現在、スランゴール州（0.97）、クアラルンプール（0.84）、プトラジャヤ（0.78）及びヌグリ・スンビラン州（0.82）を除く全ての州で「1.0」を超過しているものの（ラブアンは症例数が少なく算出不可）、サバ州及びペナン州を除き、多くの州では減少傾向にある
- 8月26日現在、ペルリス州（1.23）及びサラワク州（1.20）が特に高い状況にあるが、時期及び地域により変動があるため、引き続き各州の状況を注視する必要



## 変異株検出状況（2021年8月27日時点）（先週から更新なし）

WHOが指定するVOCのマレーシアにおける検出状況は以下のとおり。

- ① B. 1. 1. 7（いわゆる「英国型」「アルファ株」）：14例検出（国内9、輸入5）
- ② B. 1. 351（「南アフリカ型」「ベータ株」）：209例検出（国内208、輸入1）
- ③ B. 1. 1. 28. 1（「ブラジル型」）：未だ検出されていない
- ④ B. 1. 617（「インド型」「デルタ株」）：467例検出（国内453、輸入10）

なお、総ゲノム解析数は2021年7月17日までで計632例。

これを7月17日時点の累積陽性症例数（905,851例）で割り戻すと、全陽性症例の「0.070%」がゲノム解析されていることとなり、従って、現時点におけるマレーシアの変異株流行状況全体を捉えるのは困難であることに留意する必要がある。

また、7月18日付保健省発表によると、7月1日から7月12日までにゲノム解析された検体は48例で、その結果は以下のとおり。検体の採取場所についての情報はないため、地域差を考慮する必要はあるものの、現在感染した場合、それがデルタ株である可能性は高いと考えられる。

- 非VOC/VOI：11例（23%）
- ベータ株：11例（23%）
- デルタ株：26例（54%）

## 2. 病床状況

（政府系・私立系病院のコロナ用病床状況、クランバレー地域におけるコロナ用ICU病床使用率推移）

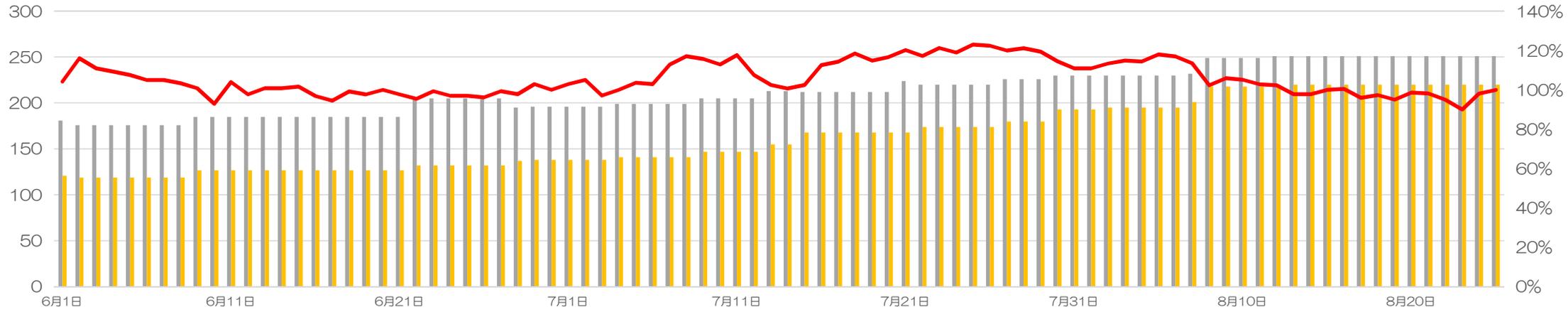
## 政府系・私立系病院のコロナ用病床の状況

- 7月18日付保健省発表資料によると、政府系病院でのコロナ用一般病床数及びその使用状況は以下のとおり  
 コロナ用一般病床：13,229床のうち、10,331床（78%）が使用中（※前週より使用率は6%増加）
- 他方、同時点における私立系病院でのコロナ用一般・ICU病床数及びその使用状況は以下のとおり  
 コロナ用一般病床：1,285床のうち、795床（62%）が使用中（※前週より使用率は8%増加）  
 コロナ用ICU病床：128床のうち、107床（84%）が使用中（※前週より使用率は19%増加）
- なお、①上記患者には「感染疑い（Suspected/Probable case）」も含まれている点、②全国値であり州別の状況は不明である点に留意する必要がある
- また、7月24日より保健省が州別の病床数等の統計データ公表を開始（<https://github.com/MoH-Malaysia/covid19-public>）
- 8月25日時点の各州の政府系病院のコロナ用ICU病床数及び利用状況についてまとめたところ、以下のとおり（クランバレー地域の利用率推移については別スライド参照）
- 8月25日時点で、先週と比して一部改善した地域はあるものの（ヌグリ・スンビラン州は59%から35%へ、スランゴール州は117%から98%へ）、引き続き約半数の地域で政府系病院のコロナ用ICU病床使用率は100%を超えている状況にあり、これら地域の在留邦人におかれては留意が必要。なお、実際に政府系病院のコロナ用ICUに入院できないとの在留邦人からの相談は現時点までに当館にはなされていない

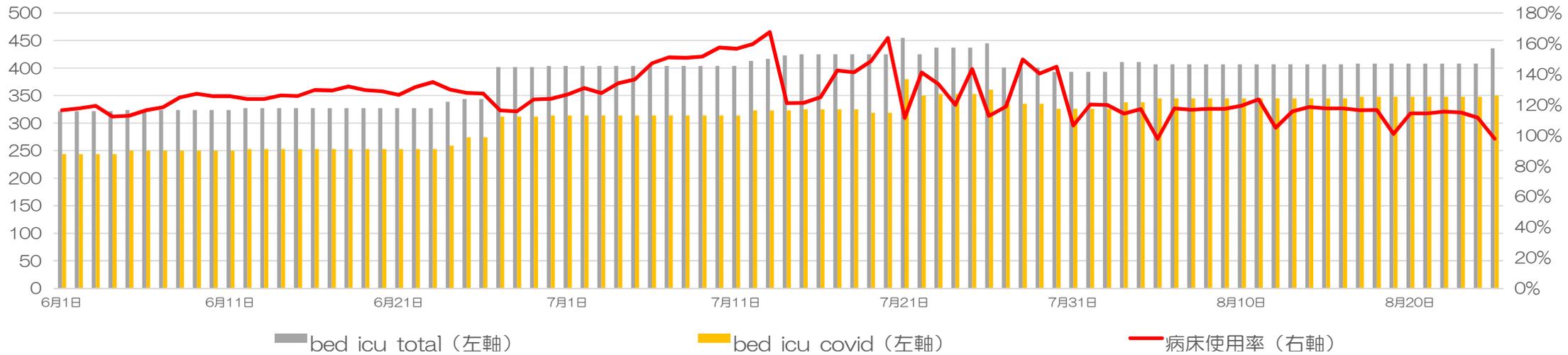
	全ICU病床数	コロナ用ICU病床数	コロナ用ICU病床への割当率	コロナ患者	コロナ疑い患者	コロナ用ICU病床使用率
ジョホール州	160	108	68%	114	0	106%
ケダ州	147	115	78%	137	0	119%
クランタン州	148	64	43%	77	0	120%
マラッカ州	140	96	69%	72	0	75%
ヌグリ・スンビラン州	114	88	77%	30	1	35%
バハン州	94	61	65%	41	1	69%
ペラ州	118	90	76%	97	0	108%
ペルリス州	19	11	58%	8	0	73%
ペナン州	118	69	58%	69	0	100%
サバ州	170	130	76%	184	0	142%
サラワク州	206	120	58%	62	1	53%
スランゴール州	436	350	80%	341	1	98%
トレンガヌ州	65	39	60%	29	5	87%
クアラルンプール	251	220	88%	220	0	100%
ラブアン	23	18	78%	0	0	0%
ブトラジャヤ	34	20	59%	20	1	105%

# クランバレー地域における政府系病院のコロナ用ICU病床使用状況 ※保健省データより当館作成

## クアラルンプールのコロナ用ICU病床使用状況



## スランゴール州のコロナ用ICU病床使用状況



### 3. ワクチン

(調達状況、若年者への接種、接種状況、見込み)

## ワクチン調達状況（8月27日時点）（先週から更新なし）

	調達元	調達量	配布開始時期	薬事状況
1	ファイザー	4,480万回（70%相当）	2021/2/24	条件付承認（2021/1/8） 条件付承認（2021/3/2） 条件付承認（2021/6/15）※対象を12歳以上に拡大
2	アストラゼネカ	640万回（10%相当）	2021/5/5	条件付承認（2021/3/2） 条件付承認（2021/4/2）※COVAX経由 条件付承認（2021/6/4）※直接調達
3	Sinovac	1,200万回（18.75%相当）	2021/3/18	条件付承認（2021/3/2）※完成品 条件付承認（2021/4/23）※ファーマニアガ社国内製造品
4	CanSino	350万回（10.9%相当）	2021/7末	条件付承認（2021/6/15）
5	スプートニクV	640万回（10%相当）	不明	申請済み（審査中）
6	JJ	不明	不明	条件付承認（2021/6/15）※COVAX経由 条件付承認（2021/7/16）
7	COVAX	640万回（10%相当）	2021/5/5	-
国家ワクチンプログラムのポートフォリオ上で記載があるのは上記まで。 以下のワクチンは記載なく、民間ベースでのみ流通する見込み（詳細未定）				
8	Sinopharm	不明	不明	条件付承認（2021/7/16）
9	モデルナ	不明	不明	条件付承認（2021/8/5）

2021年7月18日、ムヒディン首相（当時）は自身のSNSにおいて、今後のワクチン接種方針について以下を表明した。

- ✓ スランゴール州及びクアラランプールの成人人口の全員が、2021年8月1日までに、少なくとも1回のワクチン接種を受ける
- ✓ サラワク州の成人人口の全員が、2021年8月末までに、少なくとも1回のワクチン接種を受ける
- ✓ ほぼ全ての州で、2021年8月末までに、50%を超える接種率を記録する
- ✓ 全ての州で、2021年9月までに、70%を超える接種率を記録する
- ✓ マレーシア全土で、2021年10月までに、成人人口100%の接種率を記録する

## 若年者（12～17歳）へのワクチン接種について（先週から更新なし）

- 若年者（12～17歳）へのワクチン接種に関し、ノルヒシャム保健省医務技監の8月12日付通達が発出されました。通達の内容は以下のとおりです。
  - ✓ 本通達は9月15日から有効
  - ✓ 対象は「基礎疾患を有する12～15歳」及び「（基礎疾患の有無によらず）16～17歳」だが、実施はワクチンの供給状況による
  - ✓ ワクチン接種前の評価に際しては「若年者のワクチン接種に関する臨床ガイドライン（※）」が参照される
  - ✓ 接種場所は「病院」「クリニック」及び「学校（アウトリーチ）」を予定しているが、接種前評価により「接種リスクあり」と判断された者については、安全確保のために「病院」で接種する必要がある
  - ✓ 問い合わせは03-8883-3951又は [mycovidaeft@npra.gov.my](mailto:mycovidaeft@npra.gov.my) まで

※若年者のワクチン接種に関する臨床ガイドライン（英語）

[https://covid-19.moh.gov.my/garis-panduan/garis-panduan-kkm/ANNEX\\_48c\\_CLINICAL\\_GUIDE\\_TO\\_COVID-19\\_VACCINATION\\_IN\\_CHILDREN\\_n\\_ADOLESCENTS\\_13082021.pdf](https://covid-19.moh.gov.my/garis-panduan/garis-panduan-kkm/ANNEX_48c_CLINICAL_GUIDE_TO_COVID-19_VACCINATION_IN_CHILDREN_n_ADOLESCENTS_13082021.pdf)

（8月12日付ノルヒシャム医務技監通達（マレー語））

[https://covid-19.moh.gov.my/garis-panduan/pekeliling-dan-polisi-rasmi-kkm/SURAT\\_PEKELILIN\\_KPK\\_BIL\\_13\\_2021-PELAKSANAAN\\_PICK\\_DI\\_KALANGAN\\_REMAJA\\_TERTENTU\\_12-17\\_TAHUN\\_12082021.pdf](https://covid-19.moh.gov.my/garis-panduan/pekeliling-dan-polisi-rasmi-kkm/SURAT_PEKELILIN_KPK_BIL_13_2021-PELAKSANAAN_PICK_DI_KALANGAN_REMAJA_TERTENTU_12-17_TAHUN_12082021.pdf)

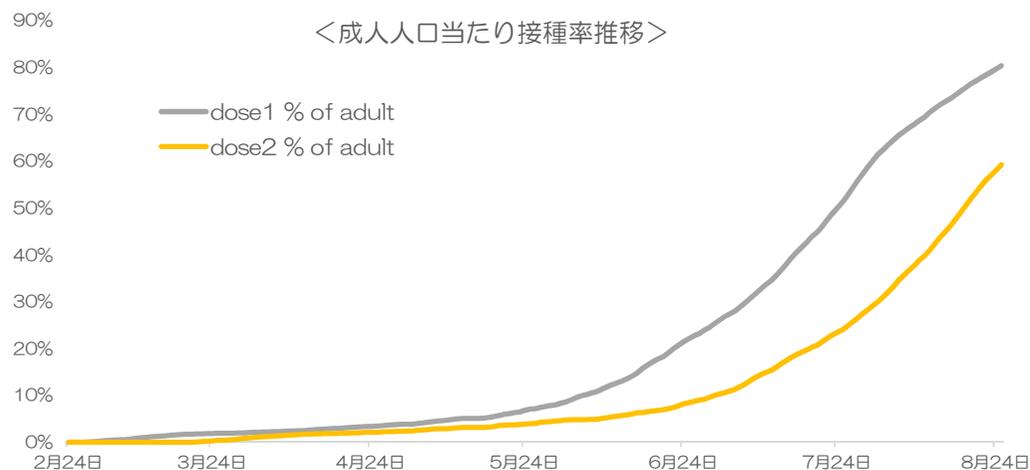
- なお、現時点で当該年齢に接種可能なワクチンは、マレーシア国内では「ファイザー」のみです。
- 更なる詳細は今後発表とされており、随時本情報は更新予定です。

## ワクチン接種状況（8月26日時点）及び供給見込み（8月5日付NRPLレポート）

- 1回接種：全人口58.0%相当  
（成人人口80.9%相当）
- 2回接種：全人口43.2%相当 ※日本では全人口43.0%相当  
（成人人口60.2%相当）

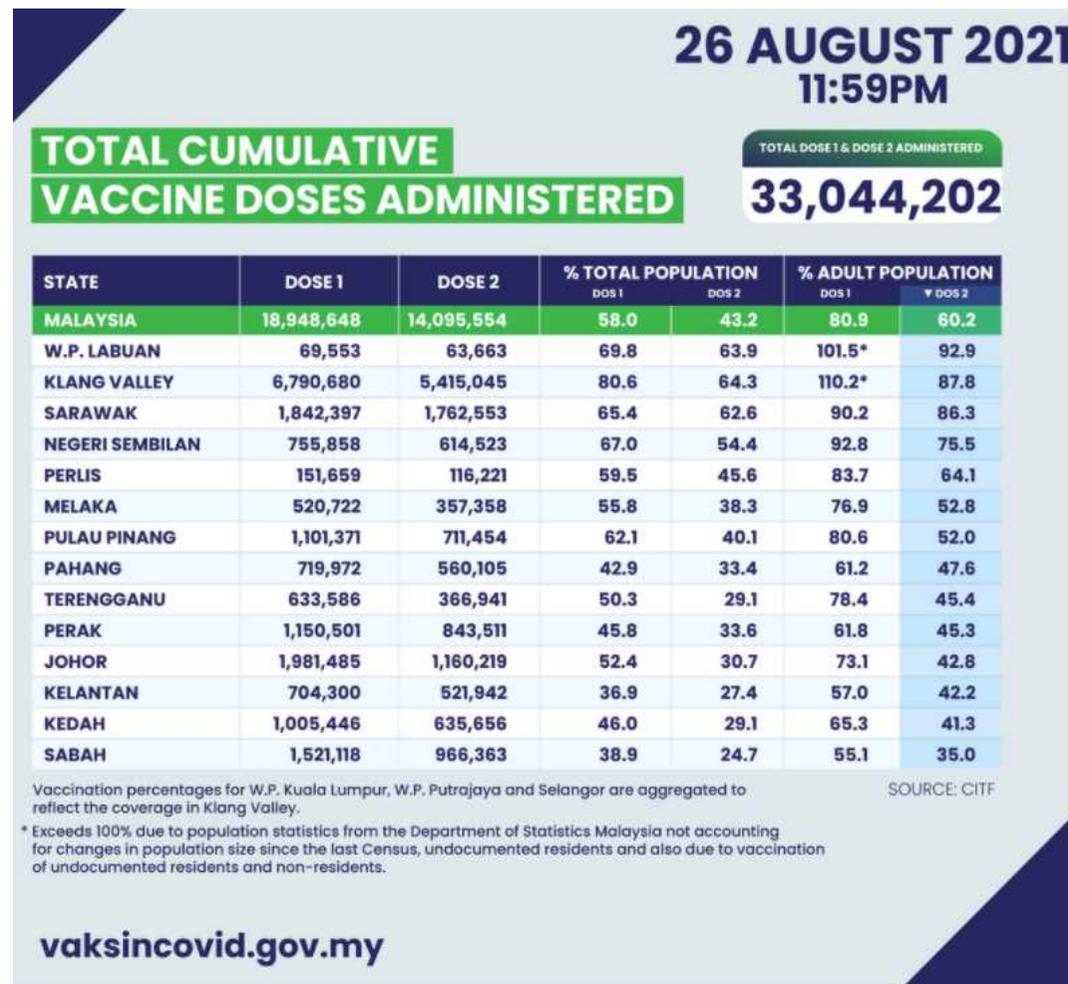
（参考：8月18日時点）

- 1回接種：全人口54.0%相当  
（成人人口75.3%相当）
- 2回接種：全人口36.0%相当  
（成人人口50.2%相当）



### ＜副反応報告（7月5日報告）＞

- 軽微なものも含めると1000回当たり「18.6件」
- 入院等を要した事例は1000回当たり「1.4件」
- ただし、長期入院や死亡事例等は報告されておらず、被害補償された者もない



SPECIAL COMMITTEE ON ENSURING ACCESS TO COVID-19 VACCINE SUPPLY (JKJAV)

## 4. 国家回復計画 (NRP)

## 国家回復計画（NRP）の概要

### <国家回復計画（NRP）>

- (1) 段階は1から4まで設定。1が6月1日からの「完全ロックダウン」、4が州間移動も認められる緩和された規制。
- (2) 各段階の移行は、①人口10万人当たり新規感染症例数、②公衆衛生システム状況（ICU病床使用率等）、③ワクチン2回接種率に基づき州毎に検討・判断される。具体的な要件は下表のとおりで、州毎の要件への該当状況は次スライドのとおり。（※）8月7日、成人ワクチン2回接種率が50%を超えた州については、新規症例数に代えて、カテゴリー3（重症）以上の症例数が基準となる旨発表あり。なお、クランバレー地域については既に成人ワクチン2回接種率が50%を超えているため、新要件を満たす必要がある
- (3) ただし、「強化された活動制限令」（EMCO）対象地域では、より厳格な規制が適用される。なお、スランゴール州及びクアラランプールの一部地域に対して課せられていたEMCOは7月16日付で終了。

段階	規制概要	当該段階への移行要件			
		1日あたり人口10万人当たり 新規感染症例数（※上記参照）	ICU病床 使用率	成人ワクチン2回 接種率	
		全体	カテゴリー3以上		
第1段階	6月1日からの完全ロックダウン				
第2段階	経済活動を段階的に許可（出勤率最大80%）	12.2以下	6.1以下	中程度（恐らく50~70%）	10%
第3段階	早ければ本年8月に移行予定 基本的に全ての産業が稼働（出勤率最大80%）、議会開会（9~10月頃見込み）、教育・社会・スポーツ活動を段階的に許可	不明	3.0以下	50%未満	40%
第4段階	早ければ本年10月に移行予定 全ての産業が稼働し、州間移動も可能	—	1.3以下	50%未満	60%

### <国家回復計画第1段階> ※現在、クランバレー地域ほか3州で施行中

- (1) 生活必需品購入のための外出は、ワクチン接種未完了者の場合は一世帯から2名まで（ワクチン接種完了者も州間・地区間移動は禁止）
- (2) 農業、漁業、畜産業、プランテーション業等の一部の産業は出勤制限なし、一部製造業及び生活産業関連は従業員数の60%を上限とし出勤可。その他の製造・建設・鉱山・採石・飲食業は、従業員のワクチン接種完了率に応じて段階的に出勤可。
- (3) 飲食店での店内飲食はワクチン接種未完了者は不可（持帰り・ドライブスルー・宅配は可、営業時間は午前8時から午後10時まで）。
- (4) 企業イベント、大規模参加型スポーツイベント、映画館、美術館・博物館は休業。学校閉鎖。

## 各州におけるNRP要件（第2・第3段階への移行基準を満たしていないものは赤字）

4	人口10万人当たり新規感染症例数 ※直近1週間の平均値	ICU病床利用率 (8月25日時点)	成人ワクチン2回接種率 (8月26日時点)	国家回復計画の段階
ペルリス州	15.9 (※2)	73%	64.1%	3 (8/4~)
ケダ州	80.0	119%	41.3%	1
ペナン州	90.6 (※2)	100%	52.0%	2 (7/7~)
ペラ州	40.7 (※2)	108%	45.3%	2 (7/5~)
スランゴール州	87.6	98%	87.8% (スランゴール+KL+プトラジャヤ)	1
ヌグリ・スンビラン州	38.4 (※2)	35%	75.5%	2 (8/26~)
マラッカ州	53.3	75%	52.8%	1
ジョホール州	43.4	106%	42.8%	1
パハン州	32.8 (※2)	69%	47.6%	2 (7/5~)
トレンガヌ州	40.3 (※2)	87%	45.4%	2 (7/5~)
クランタン州	63.7 (※2)	120%	42.2%	2 (7/5~)
サバ州	72.1 (※2)	142%	35.0%	2 (7/10~)
サラワク州	63.8 (※2)	53%	86.3%	3 (8/4~)
クアラルンプール	59.9	100%	87.8% (スランゴール+KL+プトラジャヤ)	1
プトラジャヤ	27.3	105%	87.8% (スランゴール+KL+プトラジャヤ)	1
ラブアン	4.4	0%	92.9%	4 (8/26~)

※1：前述のとおり、クランバレー地域等については「人口10万人あたりカテゴリー3以上新規症例数」の新要件が適用されるが、現時点で州別のカテゴリー別新規症例者数の情報は公表されていないため、暫定的に人口10万人あたり新規感染者数を記載しているもの。

※2：7月14日、ザフルルNRP調整担当大臣（当時）は、第2段階へ移行した州は第1段階へ戻ることは無い旨述べている。

国家回復計画の段階ごとの規制における「ワクチン接種完了者」への緩和措置（8月27日更新、更新点は赤字）

【定義】以下の基準を満たす者。

- ・2回接種が必要なワクチン（ファイザー、アストラゼネカ、シノバック、モデルナ、シノファーム等）の場合、2回目の接種から14日以上経過。
- ・1回のみ接種が必要なワクチン（ジョンソンエンドジョンソン、カンシノ等）の場合、接種日から28日以上経過。

【具体的な緩和措置】

	第一段階	第二段階	第三段階	第四段階
車両の乗車 人数上限	○自家用車等は車両の定員まで可（タクシー等に変更なし）			（○ワクチン接種 未完了者を含 め、タクシー等 含め車両の定員 まで可）
地区間移動	×（地区間移動）	○地区間移動 【要件：以下を所持】 （1）デジタルワクチン接種証明書 （2）身分証明書/パスポート ※17歳以下の子供の同伴可	（ワクチン接種未完了者を含め○）	
遠距離に居 住する配偶 者を訪問す るための州 間・地区間 移動	○（州間・地区間移動） 【要件】※夫婦ともワクチン接種完了。検問では警察の許可書を提示 【警察の事前許可に必要な書類】 （1）夫婦の身分証明書のコピー （2）結婚証明書/カードのコピー （3）夫婦のCOVID-19 デジタルワクチン接種証明書のコピー （4）夫/妻の居住証明書または雇用主の確認書のコピー	○（州間移動）		（ワクチン接種 未完了者を含め 州間移動○。第 一・第二・第三段 階対象州への移 動は警察の許可 が必要）
遠距離に居 住する18	○（州間・地区間移動） 【要件】※両親/保護者がワクチン接種完了。検問では警察の許可書を提示	○（州間移動）		（ワクチン接種 未完了者を含め

歳未満の子 供を親等が 訪問する場 合の州間・ 地区間移動	<b>【警察の事前許可に必要な書類】</b> (1) 母親/父親の身分証明書 (2) 子供の出生証明書/書類のコピー (3) 親/保護者の COVID-19 デジタルワクチン接種証明書のコピー (4) 子供の学校情報 (該当する場合)			州間移動○。第 一・第二・第三段 階対象州への移 動は警察の許可 が必要)
	第一段階	第二段階	第三段階	第四段階
海外から帰 国・到着す る際の自宅 隔離	○ (マレーシアに居住するマレーシア人・非マレーシア人 (永住者パス保有者や MM2H パス保有者等) が対象) ※保健省のデジタル自宅隔離命令 (HSO) に従うこと <b>【自宅強制隔離の要件】</b> (1) 出発 3 日前 (注) に実施した RT-PCR 検査の有効な陰性証明書 (2) 有効なワクチン接種完了証明書 (上記の定義参照) (3) 入国地点での健康診断の際に症状がないこと (4) 隔離の実施に適した居住地を有すること (注: 従来と同様の運用であれば「出発前 3 日以内」ですが、詳細が判明しましたら更新いたします。) ※強制隔離期間は 14 日 (緩和なし)。14 日目のリスク評価の結果に基づいて、必要に応じてさらに 7 日間延長され得る。インド、スリランカ、バングラデシュ、ネパール及びパキスタンからの場合、強制隔離期間は 21 日または保健省の規定に従う。 ※ワクチン接種未完了者は、指定された隔離センターで隔離。 ※MySejahtera アプリの自宅評価ツール (HAT) を使用して、隔離最終日まで連日の健康状態を監視・報告すること。 ※マレーシア入国時に RT-PCR 検査を受け、隔離が 14 日間の場合は隔離 10 日目、21 日間の場合は隔離 18 日目に再度 RT-PCR 検査を受けること。			
宗教活動	○モスク、スラウ、非イスラム教徒の礼拝所での礼拝		(ワクチン接種未完了者を含め○)	
店内飲食 (Dine-in)	○ <b>【要件】</b> ※ワクチン接種完了者であり無症状の者のみ受入れ (店舗入口に要表示) ※17 歳以下の同伴可 ※クラブハウス敷地内のレストランやカフェを含む (更衣室やバスルームの営業は禁止) ※入口にワクチン接種完了従業員数を表示、店内の良好な換気を確保 ※テーブルの定員の 50 パーセント、少なくとも 1 メートルの物理的間隔が確保できるテーブル配置		(ワクチン接種未完了者を含め○)	

	第一段階	第二段階	第三段階	第四段階
観光活動	×	○州内観光 【要件】 ※ホテル/ホームステイを含め同一州内のみ ※チェックイン時に COVID-19 デジタルワクチン接種証明書を提示（ホテル/ホームステイ運営者が確認） ※17歳以下同伴の宿泊可		（ワクチン接種未完了者を含め、州内観光及び他の第四段階対象州への観光（EMCO 対象地域又は政府指定地域を除く）○）
スポーツ・レクリエーション活動	一部○ 【要件】 ※6時から20時まで ※（居住地と）同一地区内の屋外又は半屋外で少なくとも2～3メートルの物理的距離を確保して個人で行うもの（利用定員の60パーセント）で、例えば、ジョギング、エクササイズ、太極拳、サイクリング、スケートボード、釣り、水泳、乗馬、射撃、アーチェリー、登山、テニス（シングルス）、バドミントン（シングルス）、ゴルフ、モータースポーツ、ピクニック、キャンプなど ※ピクニック及びキャンプは家族でのみ可 ※17歳以下の子供の参加は、SOPの厳格な遵守が条件		（ワクチン接種未完了者を含め一部○）	（ワクチン接種未完了者を含め○）
店舗の利用	以下の店舗の利用が可能。 ※17歳以下の子供の同伴可 （1）洗車場 （2）電気・電器店 （3）生活用品・キッチン用品店 （4）家具店 （5）スポーツ用品店 （6）カーアクセサリー店 （7）自動車の流通・販売センター	左記11業種に加え、以下の店舗の利用が可能。 ※17歳以下の子供の同伴可 （1）写真店・写真サービス （2）中古品店 （3）花屋・種苗店 （4）手工芸品・土産物店 （5）アンティーク店 （6）おもちゃ屋 （7）カーペット店		（ワクチン接種未完了者を含め○）

	(8) 衣料品・ファッション・アクセサ リー店 (9) 宝石店 (10) 理髪店・ビューティーサロン(基 本的な散髪サービスのみ) (11) 朝市、ファーマーズマーケット、 夜市、ウィークリーマーケット	(8) クリエイティブコンテンツストアとクリエ イティブ産業機器 (9) アウトドア用品店(キャンプ用品・釣り用品 等を含む) (10) 化粧品・スキンケア・香水店 (11) タバコ店(電子タバコを含む)	
--	---	---	--

※詳細についてはマレーシア国家安全保障会議（NSC）発表の国家回復計画段階別規制（SOP）（8月25日付け）参照  
<https://www.mkn.gov.my/web/ms/sop-perintah-kawalan-pergerakan/>

※日本で取得したワクチン証明書の扱いを含む入国時自宅隔離に係る手続き詳細に関しては、当館HPをご確認ください。  
<https://www.my.emb-japan.go.jp/files/100227951.pdf>

5. 陽性者等への対応  
(更新はありませんので先週版をご覧ください。)